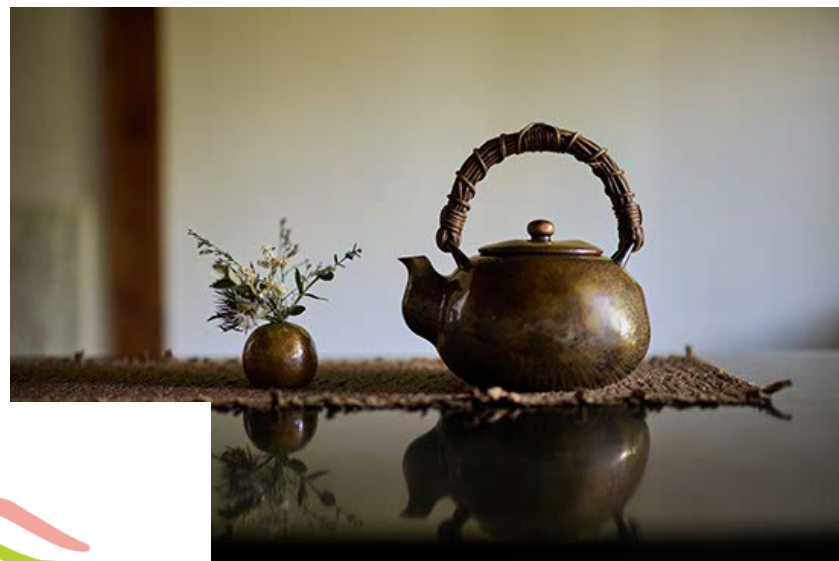
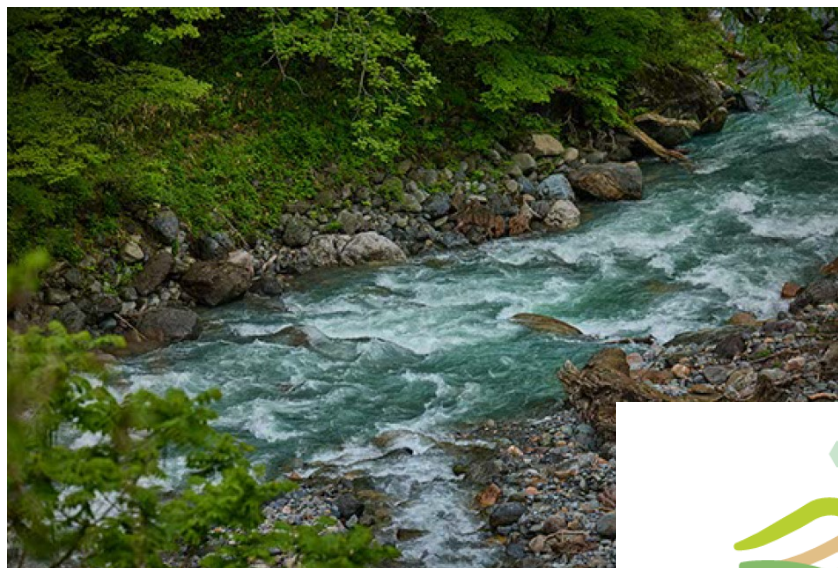
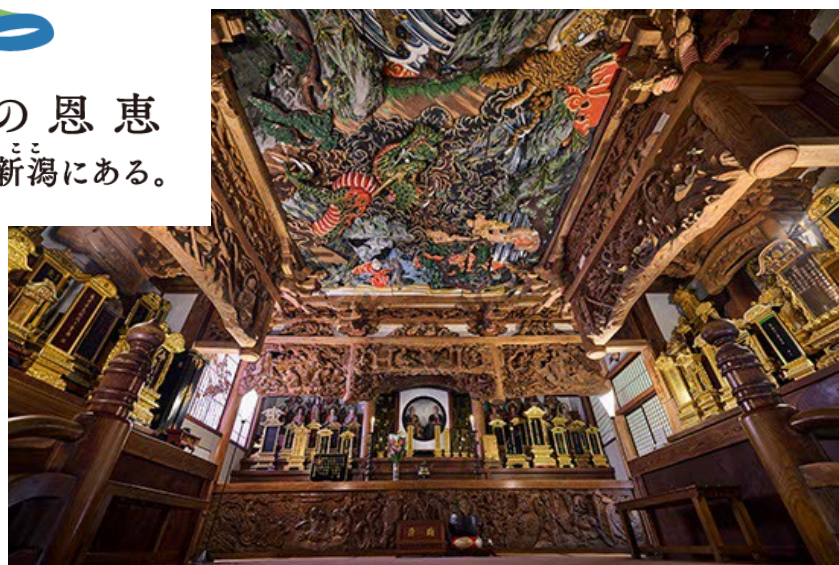


本県観光の課題と対応について



大地と雪の恩恵
本当の豊かさは、新潟にある。



新潟県観光立県推進行動計画

- 県では、令和7年に「新潟県観光立県推進行動計画」を改定。
- ビジョン（目指す将来像）の実現に向けて、観光政策・施策の体系を大きく5つの柱で整理。

計画期間

令和7年度から令和10年度
（4年間）

ビジョン（目指す将来像）

観光振興を通じて本県の魅力を高め、地域の賑わいの創出、郷土への誇りと愛着の醸成、地域経済の活性化により、持続可能な地域社会の発展を目指します。

ブランドコンセプト※

大地と雪の恩恵

本当の豊かさは、新潟にある。

※本県に来訪する旅行者が受け取る価値（令和7年に初めて整理）
「大地と雪の恩恵」は、本県の観光資源に共通する根源的価値であり、新潟の独特の地形と気候（山脈に囲まれ、冬の季節風が山々にぶつかる）により、雪が降り、その雪解け水が川となって新潟の肥沃な水田地帯を形成し、山の養分を含んだ水が日本海に運ばれ、豊かな食が生まれ、独自の産業が生まれ、そこに暮らす人々の営みがある。
「大地と雪の恩恵」をもとに、本県が提供する旅から旅行者に約束する不変的な共通の価値を「豊かさ」と位置付け、ブランドコンセプトをまとめた。

ビジョン実現に向けた観光政策・施策の体系

I 本県観光の幹となるブランドの構築・浸透

本県の価値の浸透を通じた本県ブランドの構築

II 地域資源の特性を活かしたツーリズムの推進

- 1 ガストロノミーの更なる推進
- 2 「雪」を活かしたツーリズムの更なる推進
- 3 地域の魅力を活かす取組の推進

III 戦略的な国内誘客の推進

誘客ターゲット・指針

- 1 認知・需要喚起のための露出獲得・情報発信
- 2 観光事業者とのリレーション形成
- 3 リピーター拡大に向けた取組
- 4 広域観光連携の推進
- 5 地域の特性を活かしたMICEの誘致強化

IV 戦略的な海外誘客の推進

誘客ターゲット・指針

- 1 認知・需要喚起のための露出獲得・情報発信
- 2 旅行商品造成、送客のためのAGTリレーション形成
- 3 広域観光連携の推進
- 4 地域の特性を活かしたインセンティブ旅行の誘致強化

V 持続可能な「稼ぐ」観光地域づくりの推進

- 施策1 観光に対する県民意識の醸成
施策2 多様な関係者と連携したコンテンツ整備
施策3 持続可能な観光地域づくりのための観光DXの推進
施策4 観光地域づくりを支える人材の育成・確保
施策5 受入基盤の整備・サービスの充実

これまでの主な取組内容（観光政策・施策体系別）

I 本県観光の幹となるブランドの構築・浸透

施策	主な取組内容
本県の価値の浸透を通じた本県ブランドの構築 ①インナーブランディング ②本県の価値を打ち出した発信等によるブランド構築	・コアバリューやブランドコンセプトを観光関係者に周知、ロゴマーク等を活用して発信 （新潟県観光ブランド形成促進事業）



大地と雪の恩恵
 本当の豊かさは、新潟にある。

II 地域資源の特性を活かしたツーリズムの推進

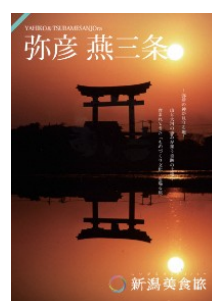
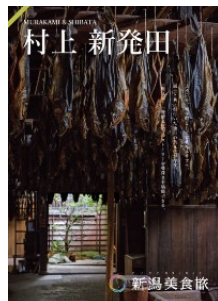
施策	主な取組内容
1 ガストロノミーの更なる推進	・本県が誇る上質な食の魅力を発信し、ガストロノミー(美食旅)による交流拡大を推進 （新潟美食旅推進事業）
2 「雪」を活用したツーリズムの更なる推進	・「雪育」をテーマに「子ども」や「ファミリー層」をターゲットとした誘客 （雪育リゾート新潟促進事業） ・スノーリゾートのコンテンツ整備・売り込み、受入基盤(ハード)整備 （スノーリゾート新潟促進事業）（国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業）
3 地域の魅力を活かす取組の推進	・「佐渡島の金山」世界遺産登録を契機とした本県全体への誘客促進 （世界遺産を核とした誘客促進事業） ・市町村等が行う観光ブランドに関連させたコンテンツの磨き上げ、モデルコースづくり等を支援 （地域の魅力を活かしたツーリズムモデル事業） ・地域の多様な主体の連携による本県固有の観光資源を磨き上げる取組を支援 （観光地域づくり支援事業補助金） ・コンテンツ造成(新規造成、磨き上げ)、周遊ルートの造成、受入体制の検証・改善 （世界水準マウンテンリゾート圏形成総合促進事業）（「農業大国新潟」アグリツーリズム推進事業） （高付加価値インバウンド誘致基盤整備事業）



これまでの主な取組内容（観光政策・施策体系別）

Ⅲ 戦略的な国内誘客の推進

施策	主な取組内容
1 認知、需要喚起のための露出獲得・情報発信 ①マーケットインの視点によるプロモーション ②集中的プロモーションの展開 ③オウンドメディアによる正確な情報の提供	・県外主要マーケットである首都圏をターゲットに、メディアやイベントを活用した情報発信 （首都圏観光誘客強化費） （新潟県観光ブランド形成促進事業）
2 観光事業者とのリレーション形成 ①旅行会社、旅行サービス手配業、ガイド等との関係強化 ②OTA等事業者との関係強化	・関西圏や中京圏からの誘客を促進するため、現地交通事業者や旅行会社等と連携した、旅行商品造成や情報発信 （交通事業者との連携による誘客促進事業）
3 リピーター拡大に向けた取組 ①にいがた観光ファンクラブ「Niicle」を活用したファンづくり ②未来のファンづくり	・にいがた観光ファンクラブ「Niicle」を活用した県内イベント等の情報発信、来訪喚起 （にいがた観光ファンクラブ推進事業） ・県外からの教育旅行誘致 （教育旅行誘致推進事業）
4 広域観光連携の推進 ①近隣県・相乗効果が期待できる他県連携 ②スケールメリットを活かした市町村連携の推進	・他県と連携した広域周遊促進 （他県連携による広域周遊促進事業）
5 地域の特性を活かしたMICEの誘致強化	・国際的・全国的なコンベンションの誘致 （コンベンション誘致補助金）



これまでの主な取組内容（観光政策・施策体系別）

IV 戦略的な海外誘客の推進

施策

主な取組内容

1 認知、需要喚起のための露出獲得・情報発信

- ①パブリシティ獲得・広告等による継続的な情報発信
- ②オウンドメディアを活用した情報発信とPDCAサイクルによるデータマーケティングの実践

- ・海外メディア、インフルエンサーによる情報発信、海外現地コーディネーターの配置（高付加価値なインバウンドモデル観光地事業）
（グリーンシーズン誘客強化事業・スノーリゾート新潟促進事業）
（「農業大国新潟」アグリツーリズム推進事業）
- ・多言語webサイト・SNSによる情報発信、GBP（グーグルビジネスプロフィール）観光動向分析、DMP（データマネジメントプラットフォーム）
（多言語観光情報発信事業）
（世界水準マウンテンリゾート圏形成総合促進事業）
（広域連携誘客推進事業）

2 旅行商品造成、送客のためのAGTリレーション形成

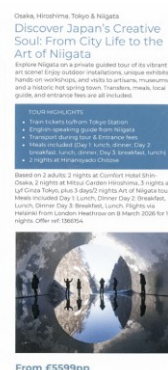
- ・海外現地コーディネーターの配置、旅行会社の視察受入（招へい）、共同販売促進（高付加価値なインバウンドモデル観光地事業）
（グリーンシーズン誘客強化事業・スノーリゾート新潟促進事業）
（「農業大国新潟」アグリツーリズム推進事業）

3 広域観光連携の推進

- 広域連携の枠組での周遊ルートの形成、情報発信
（広域連携誘客推進事業）

4 地域の特性を活かしたインセンティブ旅行の誘致強化

- 現地観光コーディネーターのセールス活動
（グリーンシーズン誘客強化事業・スノーリゾート新潟促進事業）



これまでの主な取組内容（観光政策・施策体系別）

V 持続可能な「稼ぐ」観光地域づくりの推進

施策	主な取組内容
1 観光に対する県民意識の醸成	・コアバリューやブランドコンセプトを観光関係者に周知、ロゴマーク等を活用して発信（新潟県観光ブランド形成促進事業）
2 多様な関係者と連携したコンテンツ整備 ①コアバリューを踏まえたコンテンツ整備 ②付加価値の高いコンテンツ整備	・市町村等が行う観光ブランドに関連させたコンテンツの磨き上げやモデルコースづくり等を支援（地域の魅力を活かしたツーリズムモデル事業） ・コンテンツ造成（新規造成、磨き上げ）、周遊ルートの造成、受入体制の検証・改善（世界水準マウンテンリゾート圏形成総合促進事業）（「農業大国新潟」アグリツーリズム推進事業）
3 持続可能な観光地域づくりのための観光DXの推進 ①デジタルを活用したマーケティングの推進 ②観光地経営の高度化の促進 ③デジタルを活用した旅行者の利便性向上 ④デジタルを活用した観光産業の生産性向上	・市町村や観光協会等に対し、データ分析を用いた新たな戦略立案の取組等を支援（持続可能な観光地づくりのための観光DX推進事業） ・観光地認知度・満足度調査の実施（交流人口拡大戦略検討） ・GBP登録・運用促進（世界水準マウンテンリゾート圏形成総合促進事業）（妙高リゾート開発を契機とした面的受入環境整備）
4 観光地域づくりを支える人材の育成・確保 ①専門人材の育成・確保 ②人手不足への対応 ③将来を担う観光人材の育成	・本県の魅力をストーリー性をもって発信し、観光客の多様なニーズに対応可能な広域観光ガイドを育成（にいがた観光人材養成事業） ・観光関連団体の育成、指導の実施（観光団体育成指導費） ・スルーガイド、エリアガイド、コンテンツ提供事業者のスキルアップ研修、セミナーの実施（高付加価値インバウンド誘致基盤整備事業）
5 受入基盤の整備・サービスの充実 ①旅行者の満足度を高める二次交通等の受入環境の充実 ②誰もが安全・安心に訪れられる地域づくりの促進 ③災害や事故発生時の適切な対応の推進 ④持続可能な観光地域づくりに向けた景観整備 ⑤観光産業の生産性向上・高付加価値化の促進 ⑥持続可能な観光地域づくりに向けた人の呼び込み・投資の促進	・地域の多様な主体の連携による本県固有の観光資源を磨き上げる取組を支援（観光地域づくり支援事業補助金） ・二次交通の整備促進、観光関係者のサービス・対応力向上（高付加価値化）のための研修、セミナーの実施（妙高リゾート開発を契機とした面的受入環境整備）（高付加価値インバウンド誘致基盤整備事業）（高付加価値なインバウンドモデル観光地事業）

関係者ヒアリング等

- 県の取組等に対する市町村ヒアリングや事業者アンケート、委員から事前にいただいたご意見等を踏まえると、ビジョン実現に向け、既存の取組では十分な対応ができていない、または、更なる取組加速・拡充や強化が必要といった課題が散見される。

関係者ヒアリング等	主なご意見等
市町村ヒアリング等	●エリア内や県全体など、関係者が一体となった観光施策の更なる推進 ●多様な観光資源の更なる認知拡大に向けて、県からの発信を強化 ●宿泊地、観光地、飲食場所など、単一自治体を超えた広域的な周遊促進 ●近隣市町村を訪れた外国人の来訪を促す広域エリアでの取組強化 ●地域の担い手不足への対応、二次交通の整備など受入環境の充実 ●DMOの機能強化、データ収集・分析などのデジタルマーケティングの推進 ●国予算の充実に向けた更なる働きかけ
事業者アンケート等	●県が主導し、旗振りとなって各市町村を巻き込んだ施策の展開 ●単独エリアを超えた、広域エリアで協力した情報発信、プロモーションの強化 ●外部からの担い手や働き手の確保にもつながる、二次交通やハードの整備 ●デジタルマーケティングの推進 ●観光ブランドを強力に推進するDMOの設置
委員から事前にいただいたご意見等	●観光政策に対する住民理解の促進、地元に対する誇り・愛着の醸成 ●観光資源開発や観光需要の平準化、滞在型観光などの取組強化 ●温泉地や観光地の宿泊施設とビジネスホテルで異なるニーズ等への対応 ●高付加価値層に対する市場開拓などプロモーションの継続的な財源確保と体制づくり ●将来世代に地域を残していく取組の強化、宿泊につながる体験コンテンツ等の開発 ●持続可能な観光地づくりに向けた、誘客PRと受入環境整備の好循環の構築 ●観光資源保全、危機管理への対応、DMO機能強化、地域マネジメントの充実

本県観光の課題（まとめ）

- 市町村や事業者、委員等からは、観光振興に対する取組の強化などを求める声がある。
- また、今後のインバウンド等の需要拡大を見据えた推進体制の強化や、危機管理体制の整備などの必要性も高まっているほか、広域周遊に伴う市町村単独では対応が困難な観光課題も増加している。

本日も議論いただきたい内容

- 散見される課題等を以下に整理した上で、その解決に向け、必要となる取組例についてご意見等をいただきたい（次頁）。
- （今回の検討会での議論の後、第2回に向けて、関係者に対するヒアリング等も実施した上で、必要となる取組例や役割分担などを精査し、費用の規模を算出する）

I 本県観光の幹となるブランドの構築・浸透

- 観光ブランドの更なる構築・浸透
- 県全体で統一感をもった取組強化

II 地域資源の特性を活かしたツーリズムの推進

- 多様な観光資源の更なる認知拡大
- 観光需要の平準化

III 戦略的な国内誘客の推進

- 更なるプロモーション強化
- 県内周遊に向けた取組強化

IV 戦略的な海外誘客の推進

- 更なるプロモーション強化
- 高付加価値旅行者の継続的な誘客促進
- 海外M I C E誘致強化

V 持続可能な「稼ぐ」観光地域づくりの推進

- DMO等観光推進体制の更なる強化
- データ利活用・DXの推進
- 観光資源の保全
- 人材確保・人材育成の取組強化
- 受入環境の充実
- 観光危機管理体制の整備

本県観光の課題解決に向けて必要となる取組例

観光政策の体系	本県観光の課題	課題解決に向けて必要となる取組例（他自治体の取組等を参考）
I 本県観光の幹となるブランドの構築・浸透	○観光ブランドの更なる構築・浸透 ○県全体で統一感をもった取組	・住民の観光参画に対する意識の醸成、啓発 ・県民を含むオール新潟でコアバリューの共通理解を形成 ・県内関係者が各種プロモーション等で発信強化
II 地域資源の特性を活かしたツーリズムの推進	○多様な観光資源の更なる認知拡大 ○需要の平準化	・A I 等の新たな技術を活用した発信力強化 ・ライトコンテンツを含む多様なニーズに対応したツーリズムの推進 ・特定時期に集中する観光需要の分散につながる観光地づくり
III 戦略的な国内誘客の推進	○更なるプロモーションの取組 ○県内周遊に向けた取組強化	・多様な媒体を活用したプロモーションの充実 ・ターゲットを絞ったプロモーションの集中展開 ・経済効果の高い国際会議等の誘致と併せた県内周遊の更なる促進
IV 戦略的な海外誘客の推進	○更なるプロモーション強化 ○高付加価値旅行者の継続的な誘客促進 ○海外M I C E 誘致強化	・高付加価値旅行者の誘客継続（R9観光庁モデル観光地事業終了） ・広告事業の展開 ・海外旅行博への出展拡大 ・海外現地観光コーディネーターの配置拡充 ・海外現地商談会の参加拡大 ・F I T 誘客強化を念頭においた販路強化（O T A 連携） ・広域連携の強化 ・海外M I C E 誘致に向けたセールス活動強化
V 持続的な「稼ぐ」観光地域づくりの推進	○DMO等観光推進体制の更なる強化 ○人材確保・人材育成の取組強化 ○データ利活用・D X の推進 ○受入環境の充実 ○観光資源の保全 ○観光危機管理体制の整備	・DMOのマーケティング、マネジメント機能強化 ・A I に対応したデジタルマーケティングの推進 ・観光人材の確保・育成に係る研修等の実施 ・継続的な専門人材の育成 ・観光施設等のD X 支援 ・インバウンド受入環境、コンテンツの充実 ・空港や駅などと観光地を結ぶ交通アクセスの充実 ・新たな観光コンテンツ造成・磨き上げ、観光資源の保護に対する支援 ・観光危機管理計画策定、風評被害対策

【参考】県の役割の整理

- 県は、市町村の観光振興施策を支援するとともに、市町村単独では実施が困難な、広域的かつ総合的な観光振興施策を実施する役割を担う。
- 広域自治体として、広域で取り組む周遊の促進や、推進体制の強化、人材育成など、将来にわたり継続的な価値を生み出す取組を推進することが求められる。

効果的・効率的な推進体制に向けた役割の明確化

(新潟県観光立県推進行動計画P50)

<責務や役割>

区分	責務・役割
県民	観光立県の意義・理解促進、観光振興に関する取組への参画 おもてなしの心を持った旅行者受入、観光地域づくりの担い手 観光資源の掘り起こし、魅力発信
県	観光振興施策の基本方針策定・実施 市町村観光振興施策の支援、広域的観光振興施策の総合調整
市町村	地域の特性を活かした観光施策の策定・実施
観光事業者	旅行者が安全・安心に旅行できるサービス・環境の提供 他産業との連携による地域活性化 県及び市町村の観光振興施策への協力
観光関係団体 (DMO等)	旅行者誘致、情報発信、人材育成、受入体制の充実 業界・業種を超えた連携・協力 県及び市町村の観光振興施策への協力
国・J N T O	観光立国の実現に関する施策を総合的に策定、実施 国内外の関係者と連携し、インバウンド旅行市場を拡大